

県農林水産業 功労者表彰



11月5日、静岡県農林水産振興会(会長鈴木康友静岡農林水産業において功労のあった個人および集団の、功労者

表彰を行い、農業部門で当組合監事の富士丘陵地区城田義彦さんが受賞されました。城田さんは経営面では飼料の低コスト化を目指した他、富士開拓酪農ヘルパー利用組合長、当組合理事を歴任、現在は県営朝霧高原集落基盤整備事業推進委員長と幾多の功労が認められ受賞に至りました。

共進会 乳牛の部



「フアーニー サイドキック アリシー」号

11月14日、第98回静岡県畜産共進会乳牛の部が静岡農産経済連東部畜産センターで開催されました。管内より2頭出品しました。成績は第8部(生後36か月以上48か月以下)で広見地区の(株)クリスタルフラワースさんが出品した「フアーニー サイドキック アリシー」号が優秀賞・乳器賞を受賞しました。

共進会 肉牛の部



森本剛司さん

11月30日、第98回静岡県畜産共進会肉牛の部が浜松市食肉地方卸売市場で開催されました。管内より3頭出品しました。枝肉による審査が行われ、成績は第3部(黒毛和種去勢)で一の竹地区の森本牧場(株)さんが出品した「富士山23538」号が優秀賞1席に選ばれ、自家産で出品した成績上位牛が選出される繁殖奨励賞を受賞しました。

市長へ関東生乳品質改善 共励会最優秀賞受賞を報告



右から関内慎介さん・須藤秀忠市長 佐々木剛さん・丸山組合長

本年7月に行われた第16回関東生乳品質改善共励会において最優秀賞に輝いた荻平地区(株)Gand r a c e l a n d 関内慎介さん、富士丘陵地区佐々木剛さんが、11月18日須藤富士宮市長を訪ね受賞報告し、お祝いの言葉を頂きました。

第2弾 北海道視察

10月21日、24日、職員2名が北海道視察研修を実施しました。「酪農が盛んな地域の飼養体系を学ぶ」をテーマに道北の4牧場を視察。広大な牧草畑、300頭超のフリーバーン牛舎、育成牛舎、ロータリーパーラーを視察するとともに、TMR飼料の製造工程、給与体系を学びました。補助事業を活用して既存牛舎に搾乳ロボットを導入したり、TMRの製造、配達を利用するなど、労働力軽減に努めていました。管内でも労働力の確保が困難になっているので、労働力軽減に関する取組みを進めていく必要があると感じました。



ロータリーパーラー



TMR 飼料

全国開拓 青年・女性研修会



研修会の様子

11月19日、21日、酪農家1名、組合長、職員1名が島根県で行われた全日本開拓者連盟、全国開拓農業協同組合連合会、(公社)全国開拓振興協会が主催の「全国開拓青年・女性研修会In島根」に参加しました。研修では農民運動全国連合会会長長谷川敏郎氏が「食と農の危機打開はアグロエコロジー」を演題に、生態系の力を借りて酪畜産業をすることで環境を破壊しない有機農業を目指すことが食料・農業危機打開への道であること、東京大学大学院教授鈴木宣弘氏が「食は国の本なり」地域と食と命を守る」を演題に如何に食料自給率を上げるために農林水産業が国民の命、環境・資源、地域、国土・国境を守る安全保障の柱、国民国家存続の要であり、国の宝である農漁民に手厚い政策が必要であると講演されました。

2日目に予定していた牧場視察研修は鳥インフルエンザ、九州で発症したランピースキン病の蔓延防止の観点から中止となりました。

組合長 通信



全国農業法人協会酪農部に参加しています。会員は北海道が半数を占め非系統出荷者も多くいます。北海道では個々の生産枠順守が厳しく、他の地区で不足しているも過剰地区の生産枠を融通し合う事が有りません。そのため過剰牛乳を非系統に販売せざるを得ない状況です。系統のホクレンを通じて本州に生乳を持ってくるには運賃が掛かり移出量は減っています。しかし個々の牧場の過剰牛乳は非系統を通じて格安で本州に流れています。富士宮市内のスーパでは十勝のスーパより安く牛乳が販売されています。北海道の各農協組合長が農協枠を全道で融通し合わない限り、安売り競争が続くと私は発言しています。同部会には毎回20名近くが参加します。農水省に政策提言する機関でもあるため発言は重要です。皆さん全国から手弁当で集まり活発な意見が出ます。

ところで、牛乳消費が伸びないと嘆き声が聞かれます。小中学生への酪農教育ファームは生涯に渡る重要な消費者育成になるから、実施牧場には乳価のプレミアムを付けるべき、また中央酪農会議に専任の教育ファーム推進マネージャーを酪農家の手数料を徴収しても置くべきと発言しています。日本の牛乳消費量は、ヨーロッパの3割も消費していません。座していれば消費は微減り起こす努力が必要です。

# 朝霧JAM24 牛乳キャンペーン

10月12・13日、野外フェスティバル「朝霧JAM」が朝霧アリーナで開催されました。同実行委員会が実施した「牛乳キャンペーン」では、朝霧地域活性化部会から、おいしい牛乳を皆さんに知って欲しいと、数量限定で富士の国乳業の「富士山MILK 200ml」が無料で配布されました。また、音楽を楽しんだり、地元名物の富士宮やさそば、地元食材を使ったジビエ料理や朝霧高原の牛乳を使った乳製品など、たくさんのお店が出店して賑わっていました。



牛乳キャンペーンの様子



## 第一回 富士開拓農業協同組合杯ゴルフ大会



参加者のみなさん

12月13日、静岡県開拓連後援の下、朝霧カントリークラブで組合員、関係組織より11名の参加を頂きゴルフ大会を開催しました。午前中のプレー成績の結果、(株)ナスアグリサービスの杉山周平さんが優勝し丸山組会長よりトロフィーおよび副賞をお贈りしました。



右から丸山組会長・杉山周平さん



昼食会

## 乳房炎勉強会



勉強会の様子

11月5日、酪農家、関係者約40名が農協大会議室にて「乳質と搾乳技術」と題して乳房炎の勉強会を(株)ナスアグリサービス主催で開催しました。講師のデビッド・A・リード獣医師は世界中で生乳の生産性向上に関する講義やコンサルティングを行っている方です。乳質を改善する技術や正しい搾乳方法を勉強しました。



## 本の寄贈

今年も上井出・人穴・井之頭小学校の3校に、本を手にして活字に触れてほしいと図書を寄贈しました。各校、図書活動を積極的に取り組んでいるので、役立ててほしいです。



人穴小学校(12/11)

上井出小学校(12/6)



井之頭小学校(12/12)

本を手取る児童(上井出小学校)

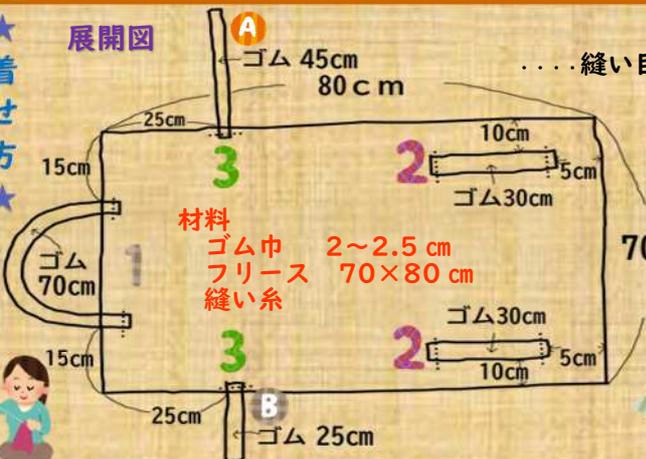
## 贈呈式の様子



完成!



- 縫い目を内側にして首を通す
  - 右足・左足片方ずつ通す
  - 横にあるAの長いゴムをお腹の下に回してBの短いゴムと結ぶ
- 布はほつれないフリースがお薦め  
首のゴムは牛に合わせて調整してね



手作りカーフジャケット作ってみませんか?

## 第4弾 CS排水処理施設工事の状況

工事は完了し、10月15日より試運転を開始しています。処理水はつつすら茶色がかっている状態ですが、調整は順調に進んでいます。処理水は試運転段階ですので、既存の浄化槽で再度処理をした上で河川放流をしています。完全稼働できるまでに数カ月かかる見込みです。



## 職員紹介

生産課  
上原 麻友 まゆ



2017年に入組今年で8年目となります。現在は生産課支援係として牛販売の精算書・請求書の作成や、市場・スマール出荷などの受付をしております。今年の5月に2人目の育休から復帰して初めて牛販売の仕事に携わり、とても重要かつ繊細な仕事だと痛感しております。責任をもってこれからも務めさせていただきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。牛のことなど、分からないことだらけなので農協に来た際はいろいろお話を聞かせてください。

「ひらく」の発行方法が、次月号(2月)からLINEに変わります。公式LINEから見てね。LINEに登録されていない方は、HPにアクセスしてみてください。

HP LINE